

2.1.2 地下水位連続観測

平成 13 年 12 月～平成 14 年 1 月の期間に設置した、既設井戸 12 地点での地下水位連続観測は、第 5 回委員会（平成 14 年 3 月 24 日）までに、13 ヶ月間（平成 15 年 1 月まで）の観測が実施されている。前回の委員会での“地下
水ポテンシャルに係わる諸調査は可能な限り継続実施する”との方針から、平成 15 年度も継続観測を実施し、平成 15 年 12 月までの観測結果が整理されている。

表 2.1-2 地下水位観測諸元 庄川扇状地水環境検討委員会

観測井 No.	井戸 番号	住所	井戸形状	地盤標高 (El.m)	井戸口径 (m)	井戸深度 (m)	観測水位 (GL-m)
1	W-21	城端町信末	手掘り(開放井)	95.0	0.750	4.54	1.84
2	W-23	井波町坪野	ボーリング井	89.9	0.200	80.00	38.84
3	W-35	福野町やかた	ボーリング井	56.3	0.200	75.00	12.38
4	W-40	小矢部市水島	ボーリング井	44.0	0.200	40.00	7.43
5	W-46	小矢部市浅地	ボーリング井	37.0	0.075	15.00	4.76
6	W-56	小矢部市金屋本江	ボーリング井	30.0	0.075	30.00	3.23
7	W-60	砺波市寿町	ボーリング井	47.0	0.150	70.00	18.84
8	W-76	砺波市高波	ボーリング井	27.0	0.100	30.00	3.80
Ø)	(W-61)	高岡市戸出	ボーリング井	30.0	0.100	60.00	9.53
9	W-52	砺波市大窪	ボーリング井	38.0	0.200	80.00	12.70
10	W-136	高岡市戸出市野瀬	ボーリング井	20.0	0.150	40.00	1.79
11	W-135	大門町串田	ボーリング井	14.0	0.150	30.00	2.20
12	W-77	福岡町土屋	ボーリング井	17.0	0.100	60.00	2.92

注1) 井戸番号は一斉測水の井戸番号を示す。
注2) No. 9 は、H15 年 5 月に W-61 から W-52 へ移設した。

その結果を以下に示す。

- ① 年間の変動傾向としては、4 月と 11 月（平成 14 年：10 月）に最低水位を記録している。また、代掻きの始まる 4 月下旬～5 月上旬にかけて、水位は急激に上昇している。これは、過去 2 カ年で同様の傾向を示している。また、降水量（積雪）の増加する 11 月下旬～12 月上旬（平成 14 年：10 月下旬～11 月上旬）にかけても水位の上昇が見られる。
- ② 水位変動の程度は、場所により異なる。扇状地の上流及び扇頂部～扇央部の観測井（No.1・No.2・No.3・No.4・No.7）の水位変動量（2～4m）が大きく、扇状地下流～扇端部にかけて変動量が小さくなる傾向は、平成 15 年度の観測結果にも見られる。扇端部の観測井(No.10・No.11)の変動量は、1m 以下である。

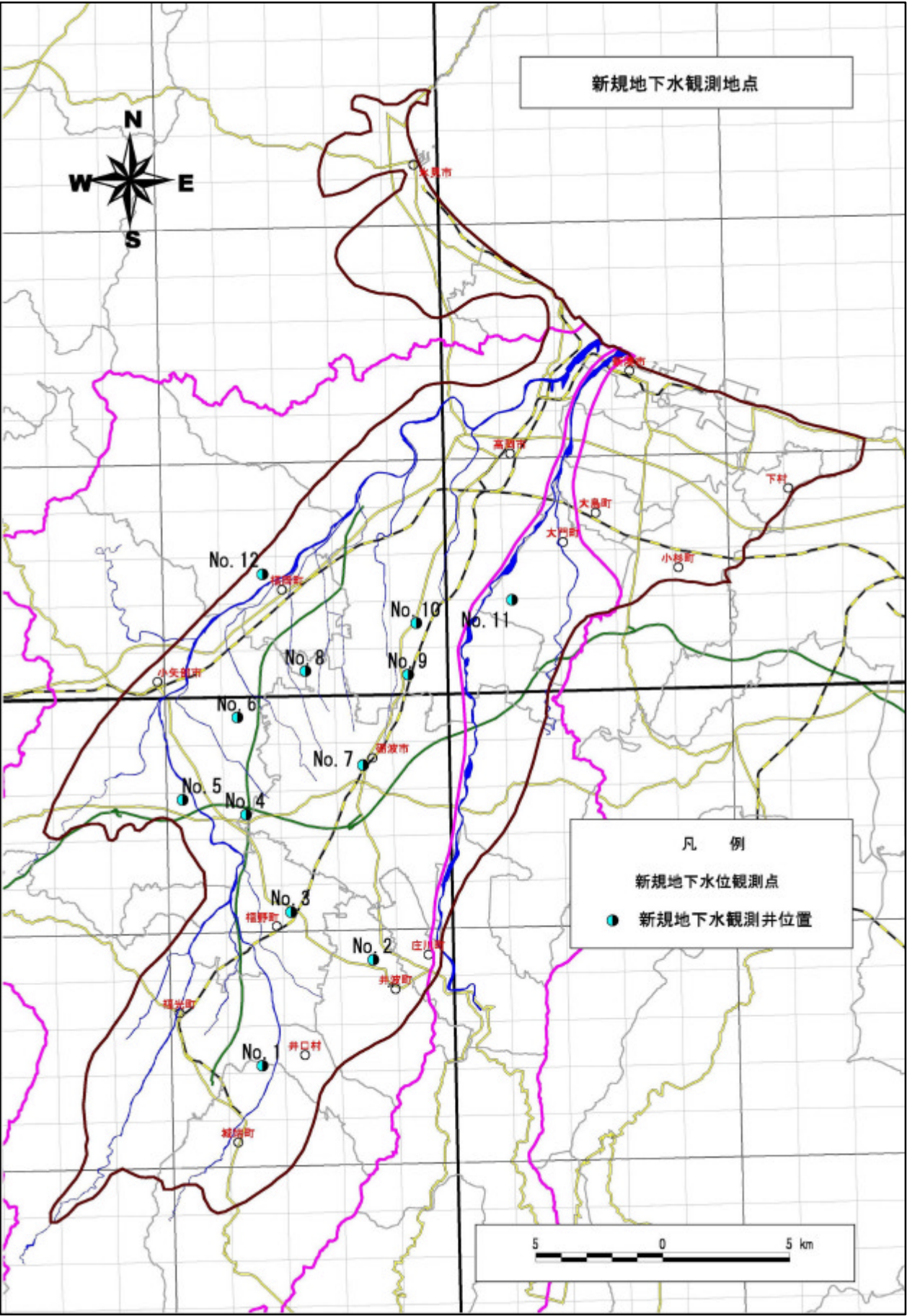


図 2.1-8 自記水位計設置地点位置図

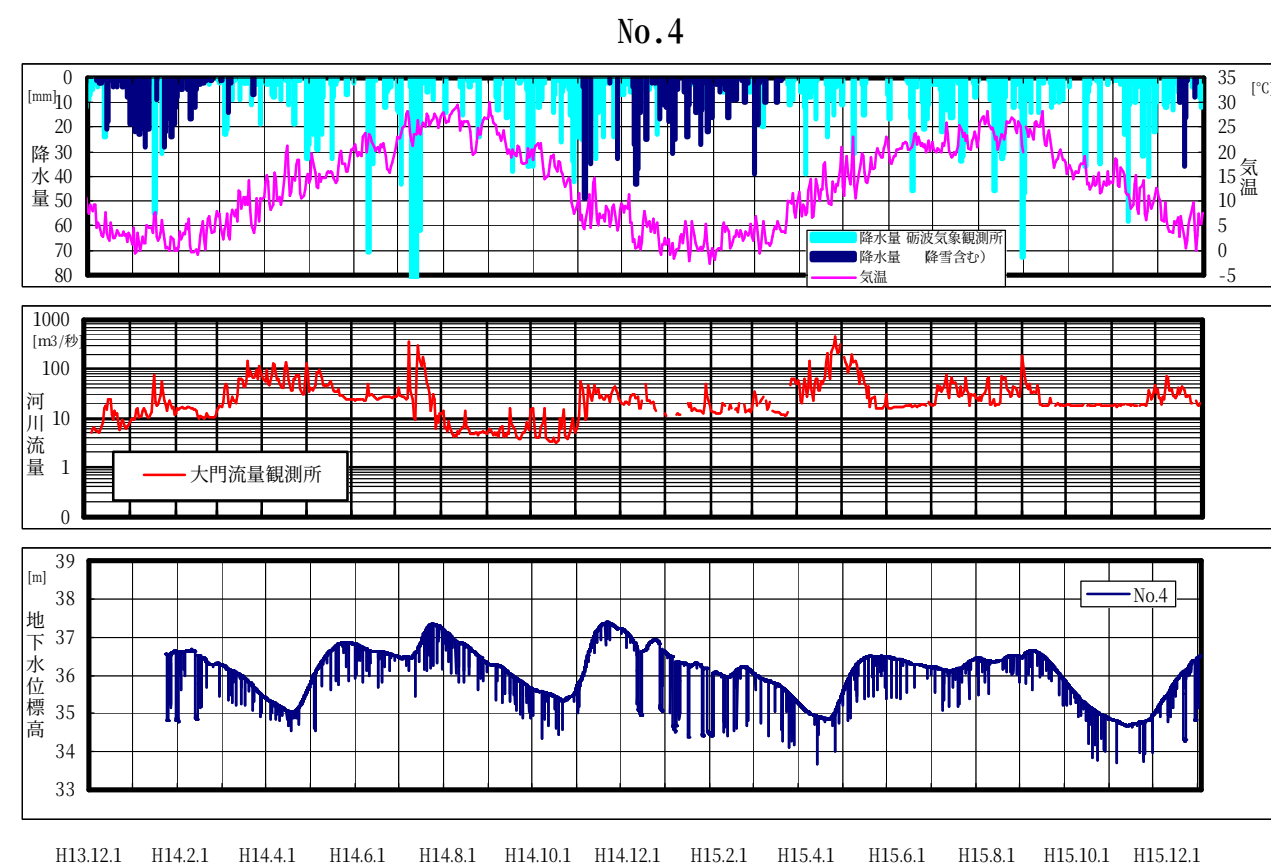
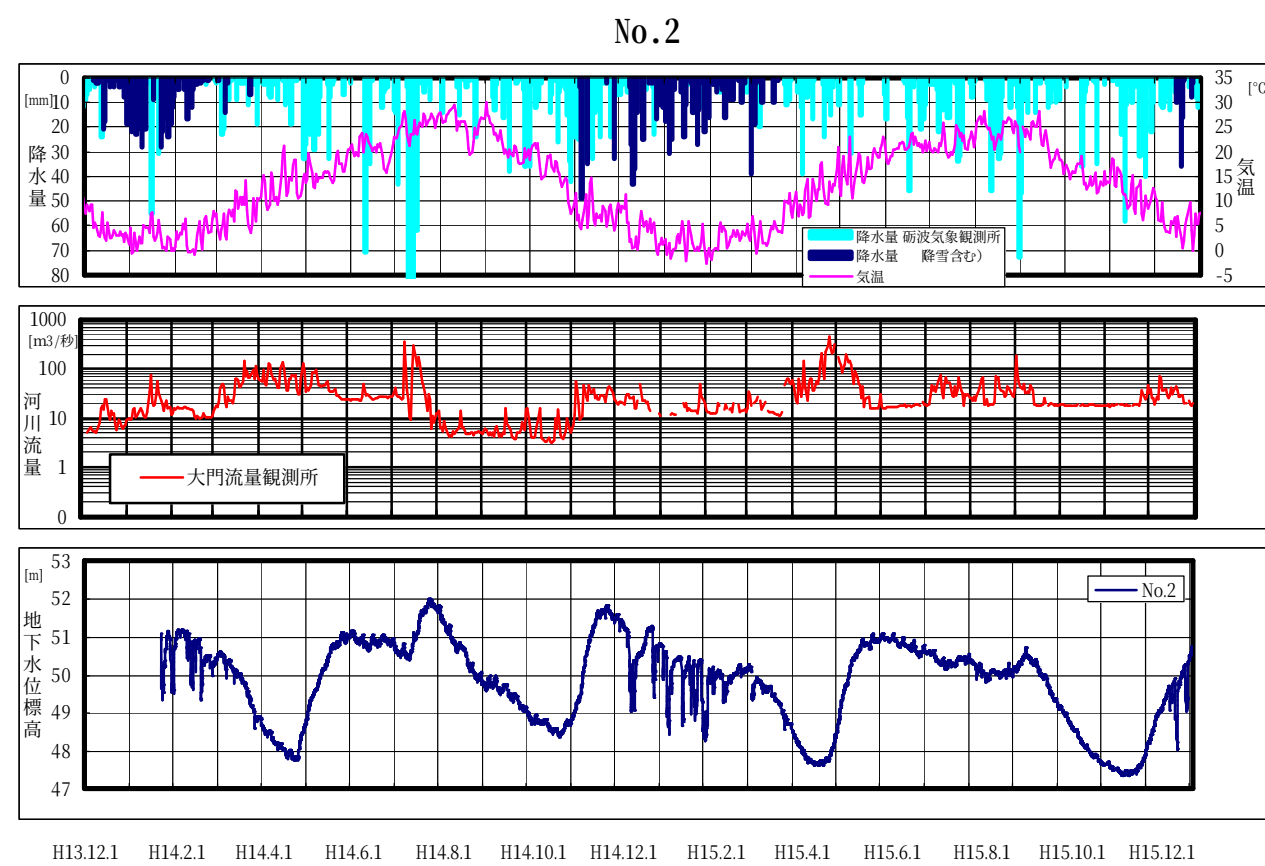
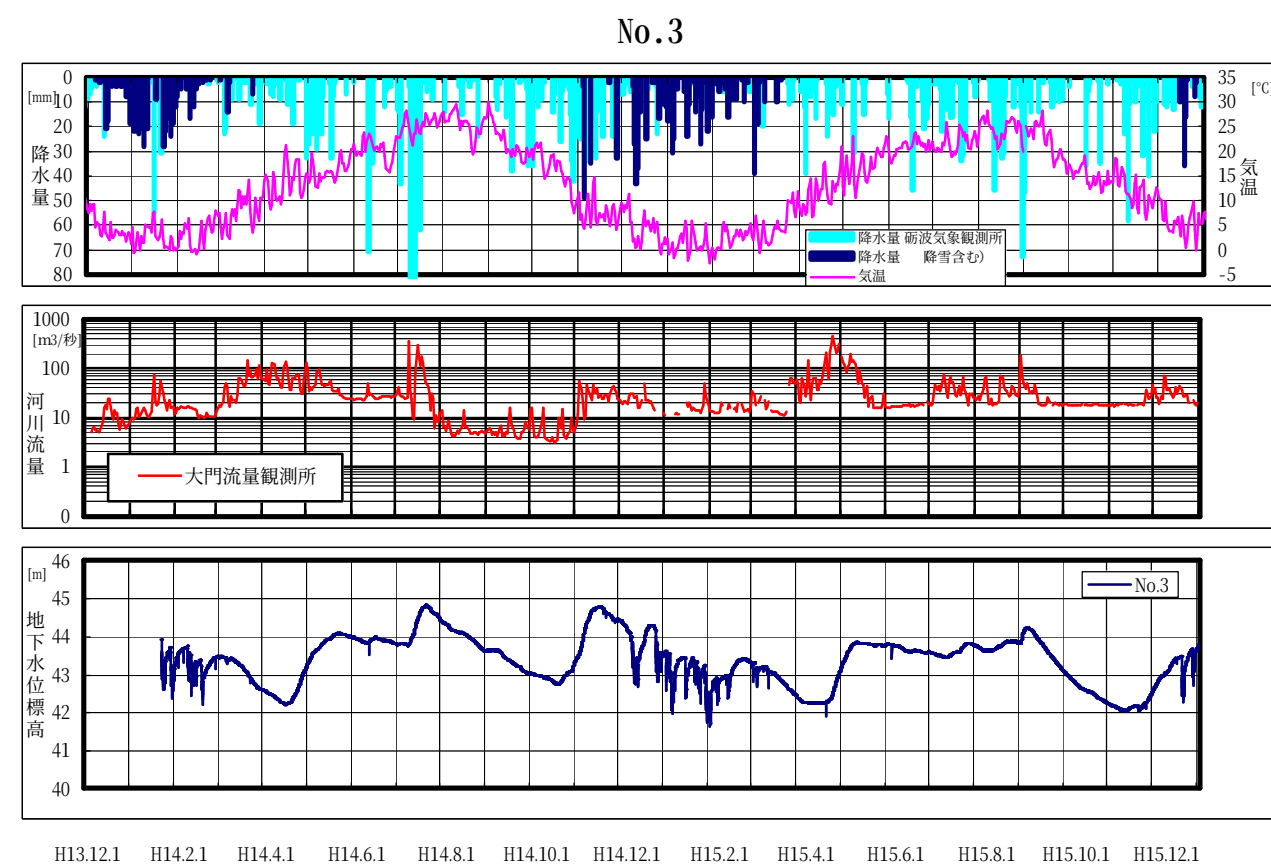
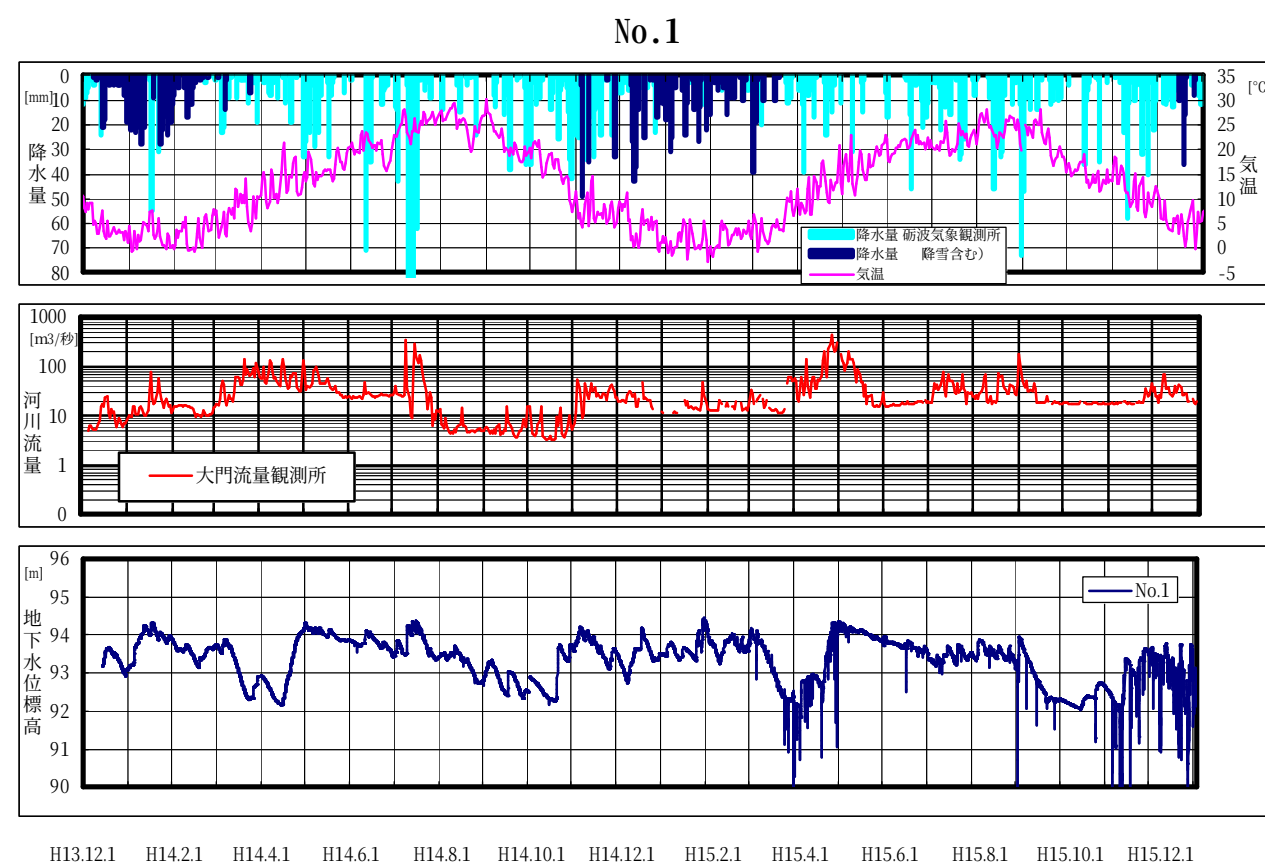


図 2.1-9(1) 地下水位変動図

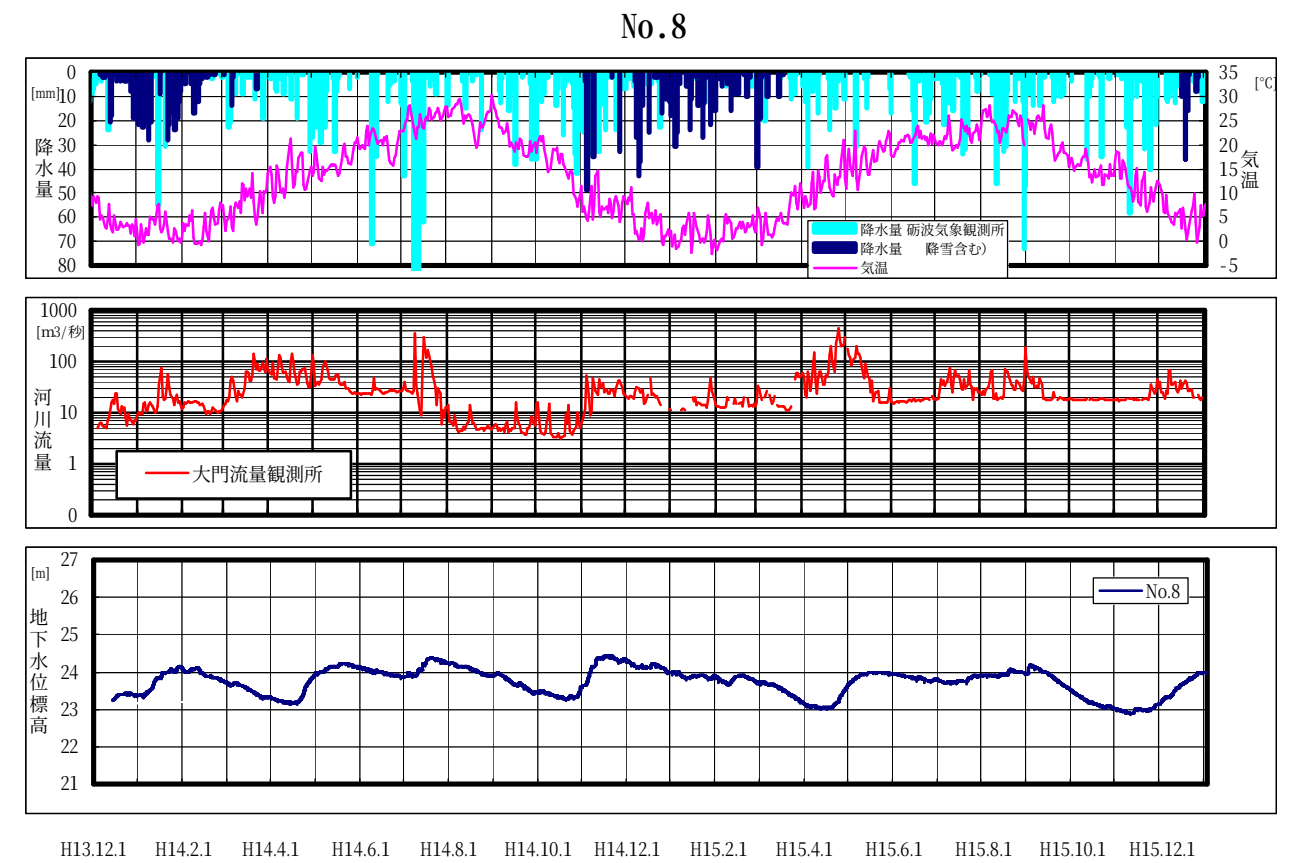
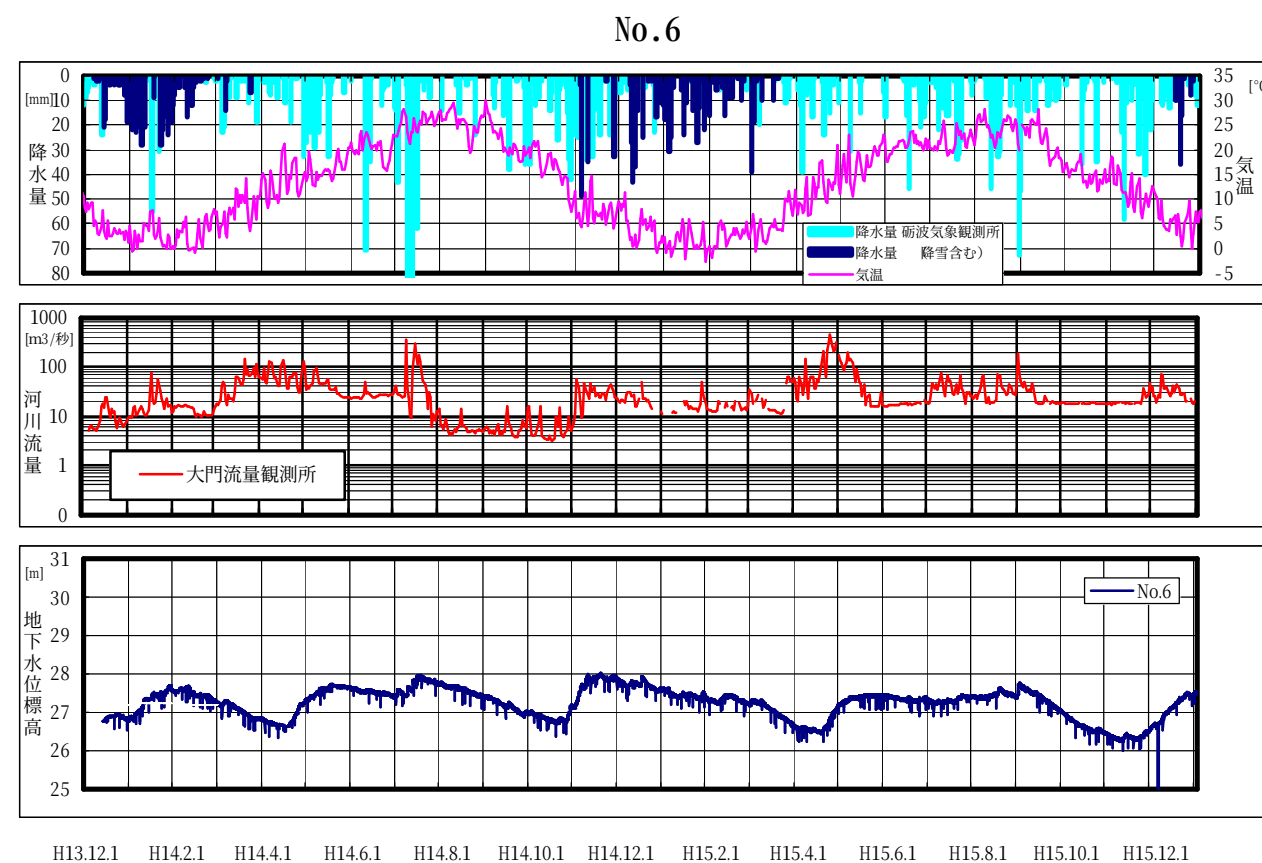
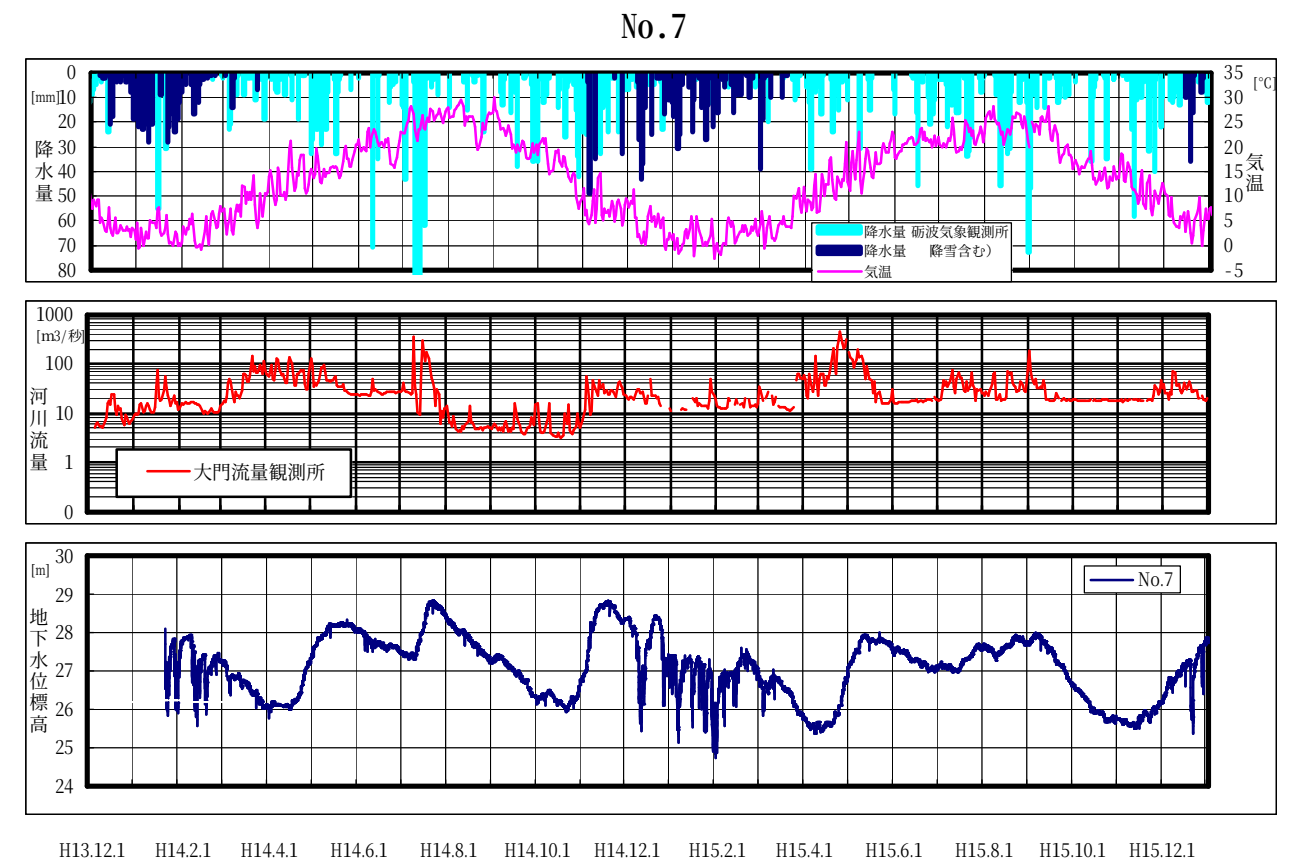
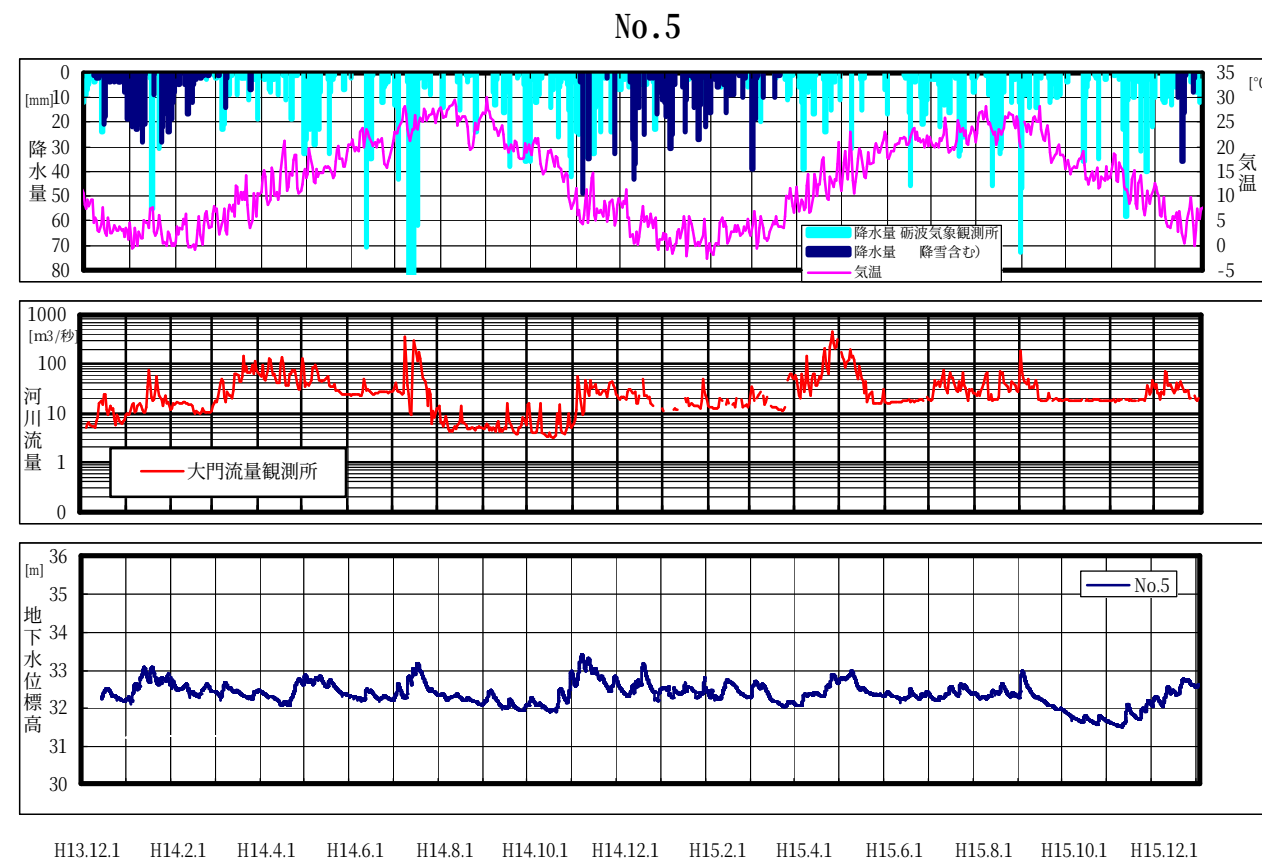


図 2.1-9 (2) 地下水位変動図

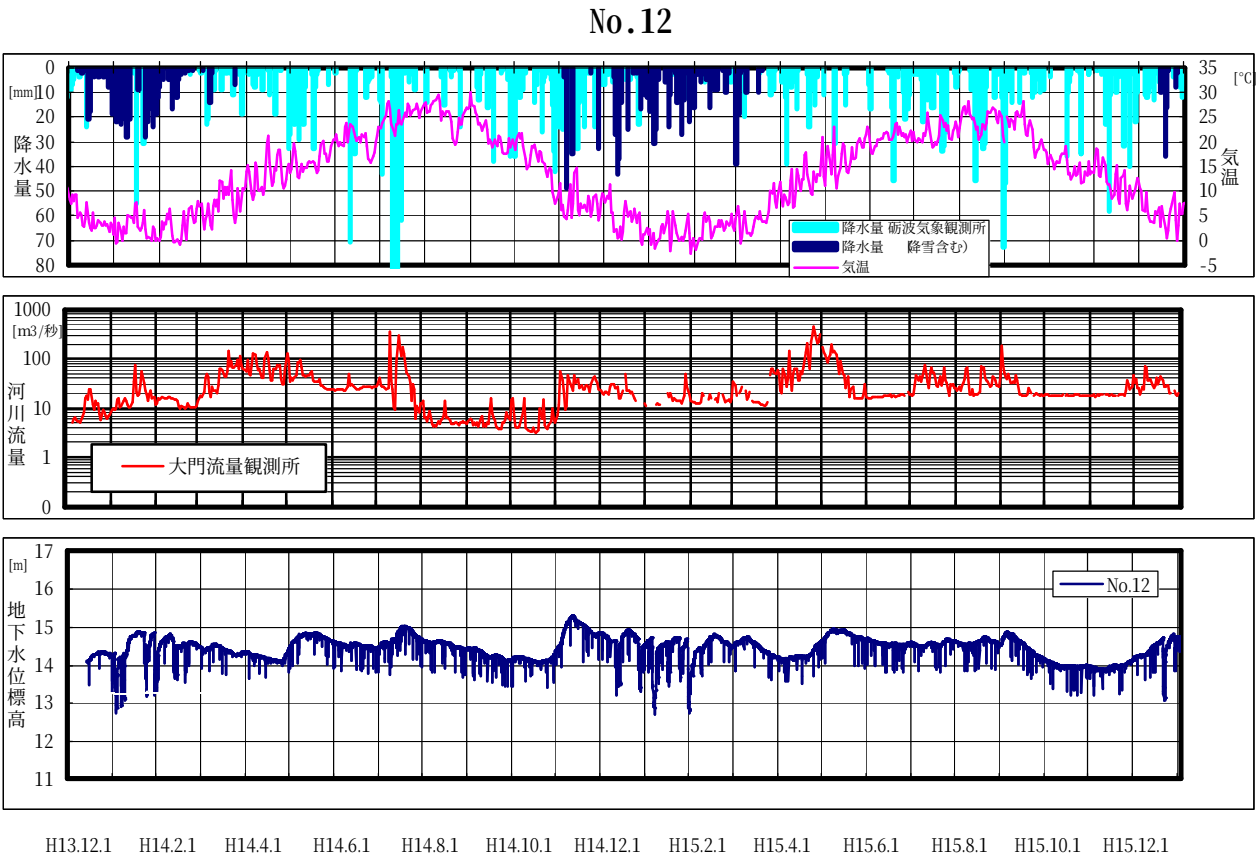
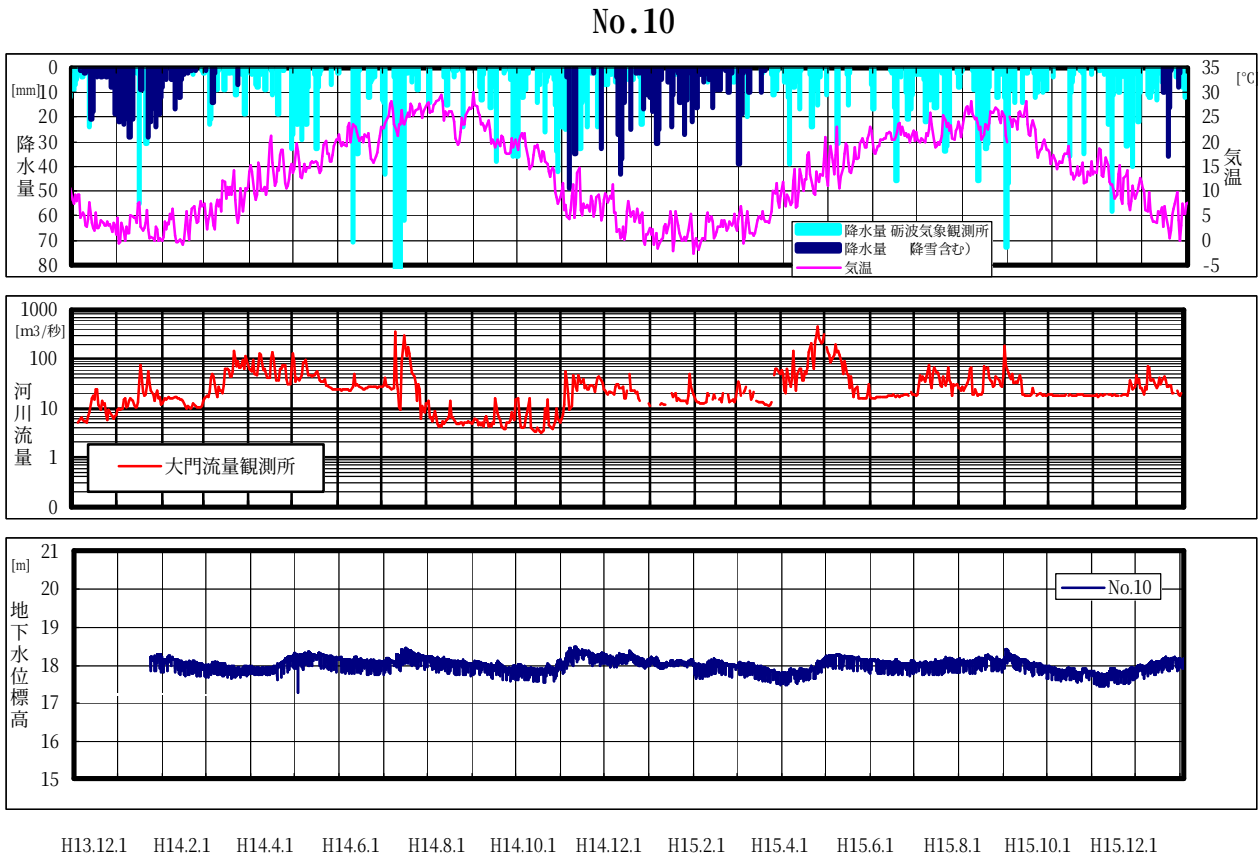
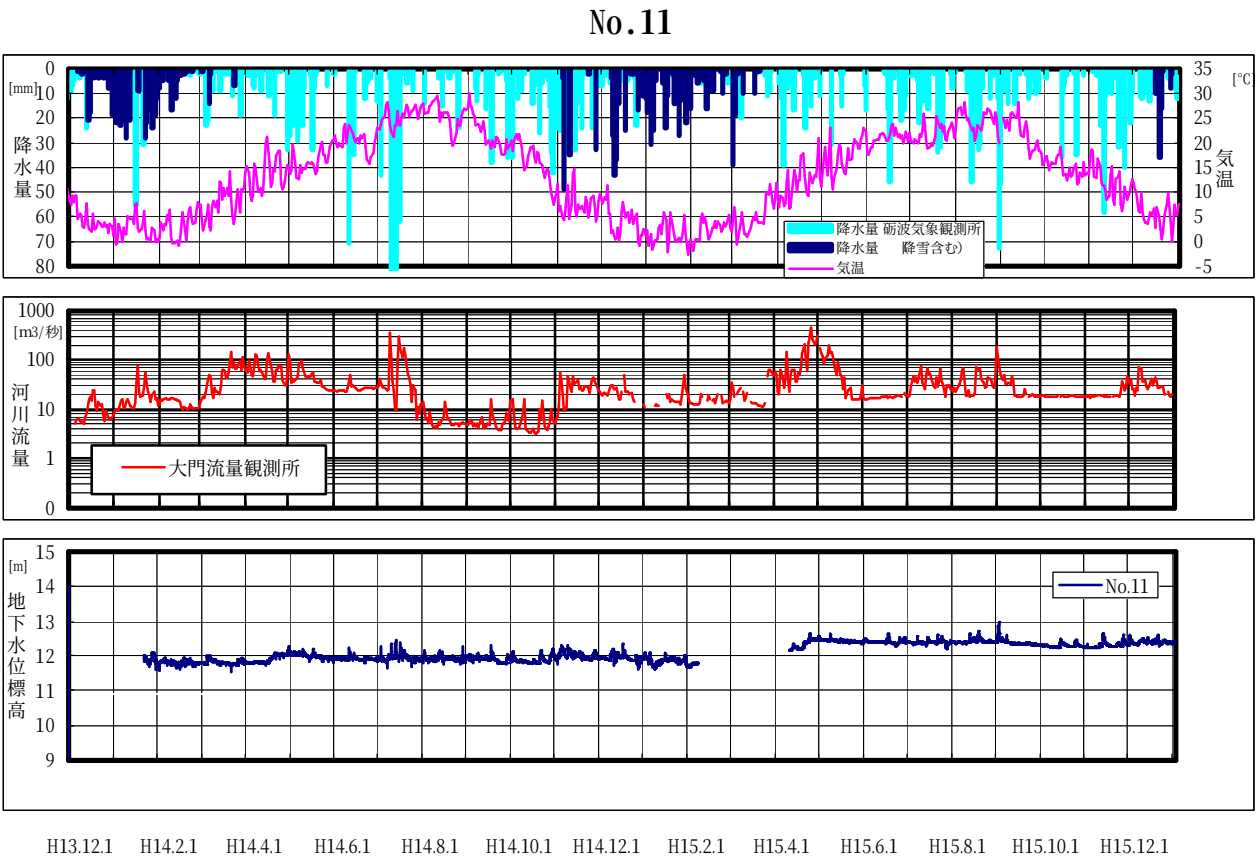
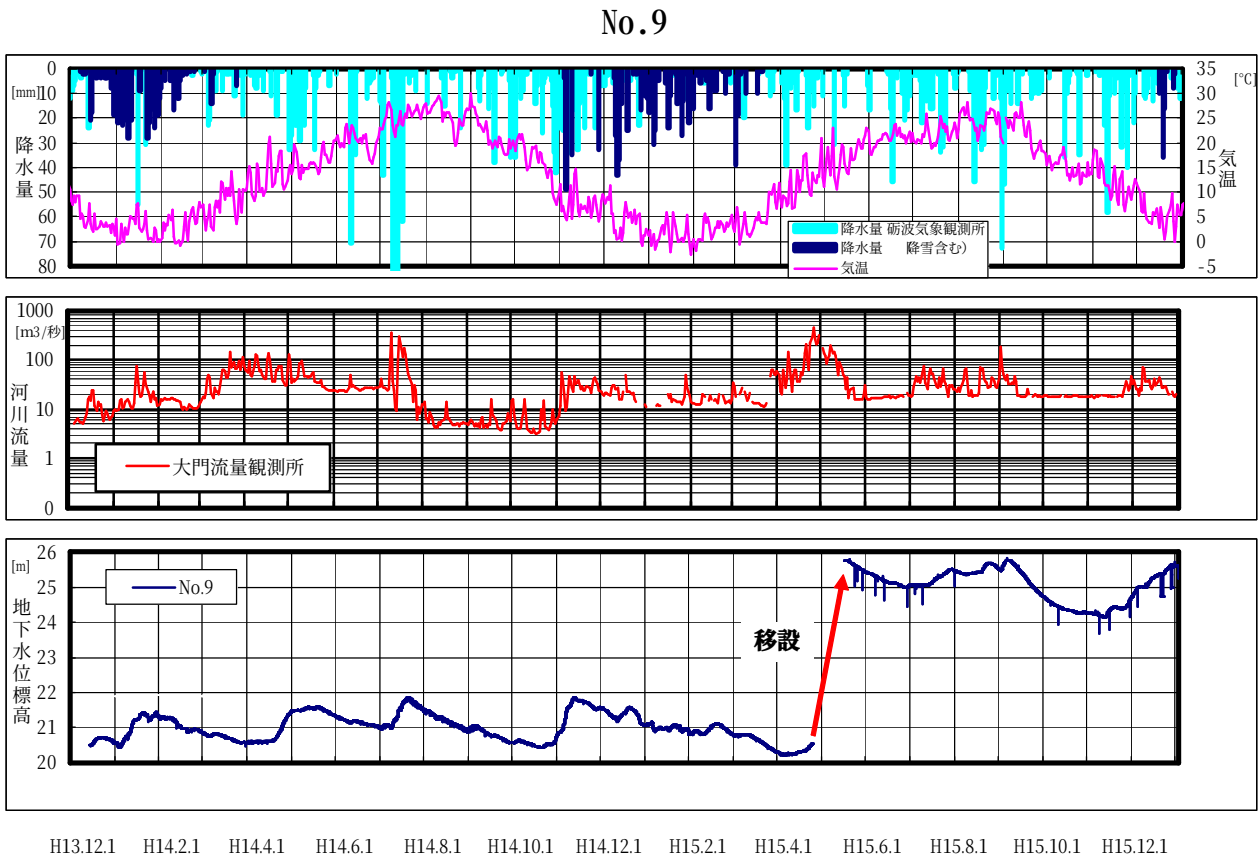


図 2.1-9 (3) 地下水位変動図